

住民大会で西原・与那原町の住民が誘致を訴える!

《「MICE」とは》

4つの単語の頭文字を合わせた造語。これらを実施するための多目的・複合施設が**MICE施設**です。

Meeting 「ミーティング」

国際的な企業や団体が、第3国で行うセミナーや会議、研修会等を指します。

Incentive travel 「インセンティブ トラベル」

報奨旅行・研修旅行と呼ばれる、企業が社員や代理店などの業績に対して実施する旅行を指します。

Convention 「コンベンション」

政府や自治体、団体などの国際団体、協会等が主催する総合・国際会議を指します。

Exhibition・Event 「エキシビジョン・イベント」

モーターショーや国際映画祭等、文化イベントやスポーツイベントを指します。

西原・与那原町では、両町にまたがるマリントウン地内に大型MICE施設の誘致を図っています。現在、マリントウン地内には約12.6haの県有地がありますが、社会情勢の影響などを受け、未処分のままとなっており、両町の地域振興を推進する立場からも、懸案事項となっています。

県が示した方針は、大型MICE施設の立地条件に“那覇空港から車で30分圏内”としています。マリントウン地域は国道329号バイパスの整備が予定されています。また、イオン南風原ショッピングセンターから与那原向けのバイパスの一部はすでに供用開始され、空港からマリントウンへのアクセスの利便性はさらに向上しています。

このようにマリントウン地域は、用地や立地の条件を十分に満たしています。沖縄は、西海岸地域のインフラ整備や北部振興策などの開発が先行しているため、今後は東海岸地域にも光をあてることで、沖縄全体でバランスのある地域振興が図られると考えています。

大型MICE施設の誘致には、すでにいくつもの自治体が手を挙げており、誘致競争が激化しています。上間明・古堅國雄両町長は、9月13日に仲井眞弘多知事と直接面会し、東海岸地域の一体的な発展と活性化のためにも、マリントウン地域への誘致を強く訴えました。また、両町議会の議決をはじめ、商工会や自治会なども誘致を推進する声を上げており、こうした住民の要望が上がっているのは、誘致の実現に向けて非常に重要です。

施設誘致を実現することで、マリントウン地域のみならず、隣接市町村や東海岸地域の発展、中南部地域の活性化拠点としての大きな波及効果が期待されます。

大型MICE誘致イベント

MICE施設よ来い! わきゃもん祭!!

将来を担う若者たちが大型MICE施設誘致というひとつの目的のために集結し、それぞれの特技を披露することで誘致をPRします。

獅子舞・棒術などの伝統芸能に、ストリートダンスやアーティストのライブなど、多数のアトラクションを用意! 会場には屋台も登場します。

お問い合わせ MICE施設誘致青年実行委員会事務局 ☎090-9490-9262

日時 1月19日(日) 15:00~19:00
場所 御殿山青少年広場
うどうんやま
(国道329号沿い、与那原小学校向かい)
入場料 無 料
主催 MICE施設誘致青年実行委員会
後援 西原町・与那原町

住民大会の最後に、あらかきのぶひと新垣信人与那原町商工会青年部長が「大型MICE施設誘致宣言」を宣言しました。
 (以下、宣言文の一部抜粋)
 一、大型MICE施設を誘致し、県土の均衡ある開発のもと国際的な沖縄観光ブランドの確立を図る。
 一、大型MICE施設を誘致し、県内外の研究教育機関等と連携した学術会議や各種催事の開催を推進する。
 一、大型MICE施設を誘致し、施設がもたらす波及効果を原動力とした与那原町、西原町並びに東海岸地域の一体的な開発及び活性化を図る。
 以上、与那原町、西原町は東海岸地域市町村と一体となりマリントウン地区へ大型MICE施設を誘致することを宣言する。



大型MICE施設をマリントウンへ!

「大型MICE施設マリントウン地区誘致 住民大会」が、11月17日に西原マリパークで開催されました。西原・与那原両町の関係機関や住民、約2,000人が会場に集結。MICE施設の誘致を訴え、地域の活性化を目指しました。(12月号で速報を既報)



上間明西原町長



これまでの沖縄の振興計画は、いわゆる“西高東低”、西海岸を中心に振興が進められてきた。「沖縄21世紀ビジョン」基本計画では、東海岸地域を新たな観光リゾート地域と定めており、大型MICE施設はこの計画の実現に最良と考えている。誘致に向けては、地域住民の熱い情熱が必要。誘致が決定するまで心をひとつにしてがんばりましょう。

さまざまな好条件に恵まれたこのマリントウン地域に、ぜひ大型MICE施設を。「そのまんま東」にしないでください、東(海岸地域)に目を向けてもらいたいと訴えてきたが、今がそのチャンス。沖縄の将来を考えたときに、東西バランスのとれた活性化のためには、マリントウン地域にMICEを整備すること。東海岸の地域で心をひとつにして、活性化を目指し、大型MICE施設誘致を成功させましょう。



ふるげんくにお 古堅國雄与那原町長



【儀間信子西原町議会議長】

地域の活性化を図るべく、なんとしてもマリントウン地区への誘致をということで、議会も行政も一緒になって何度も県に要請している。誘致合戦となっているが、地域の熱気が県の判断材料になるのではないかと期待している。



【喜納昌春沖縄県議会議長】

施設誘致は多数の手が挙がっており、誘致競争が激化しているが、両町議会の議決をはじめとした住民の要望が声として上がっているのは、非常に重要。沖縄は西側中心の開発が先行しているため、国も県も東海岸地域に光をあてる時期に来ているだろう。



【新里米吉沖縄県議会議員】

沖縄がアジアの拠点として発展していくためには、大型MICE施設が必要不可欠で、沖縄のリーディング産業である観光の発展にも欠かせない。また沖縄の均等ある発展を考えるならば、MICE施設は東海岸地区、このマリントウンに造るしかない。西原・与那原町にとってはもちろん、東海岸の周辺地域への波及効果も大きい。



【濱門稔西原町商工会長】

マリントウン地域に当初から計画されている、造成済のホテル用地が未利用のまま残されており、大きな懸案事項となっている。そんな中、大型MICE施設は渡りに船。このチャンスをしっかりと生かしていかなければならない。誘致を成功させ、沖縄の新しい海浜観光スポットとして、潤いと安らぎ、利便性と快適性の調和された地域として大きく発展していくためにも、最大限の努力をしていきたい。



【新田宗信西原町行政区自治会長会会長】

これから大事なことは、当事者である我々住民が、いかにして結束をひとつにして訴えていくか。それが最も重要ではないか。マリントウンは空港から30分圏内であるが、さらにこの地域から30分圏内で、県内のだいたいの地域に移動が可能。県民の立場から考えても、マリントウンに施設ができることは県益を豊かにするだろう。



お問い合わせ 建設部産業課 商工観光係 ☎945-4540